

■ I. 排尿障害のアセスメント

1. アセスメントとは何か

1) アセスメントとは

- ・何が問題なのかを明らかにすること。
- ・情報を集めて、その意味を考えること（分析）によって、なぜ問題（排尿障害）が起こっているかその原因を明らかにすること。

2) 何のためにアセスメントするのか

問題が起こっている原因を明らかにすることによって、適切な対処方法を知ることができます。すなわち、問題解決のためには、原因を取り除いたり、原因に働きかけたりすることが必要ということになります。

たとえば、「II . アセスメントと援助の実際」で、頻尿の事例を3事例紹介していますが、排尿の問題が頻尿であるという結果はよく似ています。しかし、その原因は様々で、各事例はその原因を明らかにすることによって、それぞれ違ったケアを実施して、症状の改善をみることができています。

このように、排泄ケアをするということは、単に汚れたオムツをかえるとか訴えのままにトイレの介助をするなどその時その時の対応をすることではなく、いかにオムツを濡らさないようにするのか、排泄回数を正常に近づけるかなど問題自体を解決していく方法を考えて実施することが重要です。

ちなみに、「何が問題か」「何を解決すべきか」は、援助する側ではなく、対象の方の思いを尊重して考えましょう。

